

卒業おめでとう！

卒業生へ 贈る言葉

卒業おめでとう
この3年間で君達はどのくらい、知識と教養、他者（先輩、クラスメート、後輩）との関係性を広げ、高め、深め、自分自身の感性を磨くことができたろうか。達成できた目標はいつあったろうか。

ウォルトディズニーの言葉に「夢をかねる秘訣は、4つの「C」に集約される。それは、「Curiosity - 好奇心」「Confidence - 自信」「Courage - 勇気」そして「Constancy - 継続」だ」とあります。（The special secret of making dreams come true can be summarized in four C's. They are Curiosity, Confidence, Courage, and Constancy.）

これからが出発点です。さらに大きな夢を掴み取ってください。君たちの人生に大いなる幸あれ。

301担任 和田 英之

3年生の皆さん卒業おめでとうございます。
3年間を一緒に過ごし、この日を迎えられたことをとても嬉しく思います。

ありがとう！
高校生活は、楽しいことばかりではなく、苦しいこともたくさん経験したと思います。

親や友達を支えがあり、それを乗り越え今の自分があると思います。

乗り越えてきたのは、あなた自身です。

これから先の人生でも、苦しい時期や難しい選択に迫られることもあると思いますが、これまで歩んできたように、生きていけば大抵のことは乗り越えられます。

誰に何を言われようと、自分の可能性を信じ続け、自分に期待して、これからの人生を選択し、自分らしく、しなやかに、遅く歩み続けてください。

僕も皆と自分に期待して、進み続けたいと思っています。

302担任 一ノ瀬 裕也



新たなステージへ進む皆さん
“いつも通り”への有難さを感じる日々が続く
いつの間にか“いつも通り”が変化していく中で
今年度、夢に向かって挑戦することを決意しましたね。

大きな決断をしたあなたの瞳はとても強く、輝いて見えました。

日常生活を送れていることへ感謝し、
これからも挑戦し続けてください。

それでもっともっと輝いてください。
“自分の人生の主人公はいつも自分”

303担任 山本 明里

ここまで本当に多くの人と出逢って、支えられて、時には笑って、泣いて、怒って、誰かを好きになって、自分が嫌になって、悩んで、考えて、必死になって、喜びを分かち合っ…とても濃い時間だったと思います。でも自分一人だけではこの時間を創ることはできなかったですね？ここからの自分の人生をどんなものにしますか。もっと多くの人と出逢って多くの人と濃い時間を分かち合ってください。そしてどこかで元気に自分らしく生き続けてください。

304担任 田中 佑樹

「大変な時こそ 自分を大きく 変えるチャンス」

あなたは「だって」「でも」「どうせ」と
できない言い訳や愚痴で終わらせませんでした。
あなたは「じゃあ」と

できる方法を考えて行動してきました。
大変な時こそ、どうか前を向いて生きてください。
それでもしんどい時は同朋の門をくぐってください。

私自身も3年間いろいろ気付けてもらいました。
卒業おめでとう。そして心からありがとう。

306担任 久保田 彩

卒業おめでとう。面倒なこともたくさんあったと思うけどよく頑張りました。
みんなには身の回りの小さなことに感謝できる、謙虚な大人になって欲しいです。またね。

307担任 嶋崎 雄一郎

皆さんは、この3年間で何を学びましたか。また懸命に取り組んだ中で、何が一番心に残っていますか。在学中に培ったことを踏まえ、それぞれの道に向かって突き進んでください。

自らの進路選択が思い描いたとおりになるといいですね。その為に、これから何をどのような形で、具体的にに取り組むべきなのかを良く考えてください。これからの長い人生において、一通過点ではありますが、同朋高校での3年間で皆さんの今後の礎になることと思います。

自信をもって次のステージへ進んでください。

309担任 榎木 哲郎

「今 いのちが あなたを 生きている」

そして

「ありがとう」

310担任 松尾 良亮

卒業おめでとうございます。
「ちゃんとしなさい」

この言葉を私もよく使います。しかし、具体的にはどういう意味なのでしょう。新型コロナウイルスは金持ちもそうでない人も分け隔てありません。既存の価値観がすべて否定された大きな転換点。私も君たちとの接し方を見直す機会となりました。「あの言葉は本当に適切だったのか」「もっと他の方法はなかったのか」自問自答の毎日でした。2年という短い時間でしたが、間違いなく今までで一番いろいろな事を試行錯誤し、考えた学年でした。これからも君たちから学んだ多くの事を教訓にし、研鑽に励みます。

305担任 内田 義博

3年間あっという間でしたね。私たちの学年は、入試制度の変更や、コロナウイルスなど先の見えないことが多い学年でした。みなさんがこれから進む道は、未知であるのが当たり前の世界です。しかし、未知であるからこそおもしろく、無限の可能性が広がっています。ぜひ怖がらずに新しいことにチャレンジしてください。チャレンジが失敗に終わることはあっても、チャレンジした経験が無駄になることは絶対にありません。卒業おめでとう。

308担任 坪内 翼

卒業おめでとう。ほとんどの人が「長かったようであっという間の3年間だった」と感じているのではないのでしょうか。これから先の人生、時間の感覚はさらに加速していきます。「時を戻そう」という、お笑いコンビのフレーズが流行語大賞にノミネートされていましたが、ご存知の通りそんなことは実際にはできません。だからこそ…振り返った時に自分自身が満足できるような「時」を過ごして下さい。

311担任 筒木 勇樹

同朋和敬

2

学校通信

Doho High School Community Press
Vol.220 12 FEB 2021

同朋高等学校 学校通信編集委員会 犀川 鰐部 杉浦

名古屋市中村区稲葉地町7の1 TEL 052-411-1159

同朋和敬

平和への祈り
沖縄修学旅行特集

Doho High School Community Press

2
Vol.220
学校通信



※撮影の為、マスクを外している写真もあります。

沖 縄での感染が広がりを見せていたころ、行ってもいいのかが心配され、愛知での感染が広がると、今度は沖縄の人々を守るという観点から、行ってもいいのかが心配された。そんな中、感染防止の対策に心を砕きながら行われた修学旅行であるが、やはり現地に行き、実際に見て、聞いて、触れて学ぶこと・感じることの大きさは他のものに代えがたい。参加できない生徒もいたが、参加した生徒が、学んできたことを伝え、皆で考え、皆で深め合っほしい。今年は同朋学園が開学して100周年に当たる。同朋高校も一歩ずつ歴史を重ねていきたい。

同朋高等学校長 滝 敏行

2020年度「愛知県私立学校経常費補助金」の交付金額が決定しました

保護者の皆様におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、助成金署名や「地域別県民文化大祭典～オータムフェスティバル」など、私学助成拡充のための運動にご尽力いただき厚くお礼申し上げます。

2020年度の同朋高等学校への愛知県私立学校経常費補助金交付額が下表のとおり決定いたしましたのでご報告いたします。皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、教育環境の一層の充実と財政の安定化に引き続き努力してまいります。今後とも、ご支援とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

◆同朋高等学校「愛知県私立学校経常費補助金」交付決定額◆

年度	一般補助金	特別補助金	総額	生徒数	1人当たり補助額
2020年度	486,574千円	15,735千円	502,302千円	1,375人	365,310円
2019年度	468,955千円	11,474千円	482,427千円	1,275人	378,374円
2018年度	437,692千円	14,106千円	451,271千円	1,242人	363,342円

8 学校通信219号(今年度PTA役員の紹介)におきまして、一部お名前間違っていました。会計監査を 山田 美香 様に訂正いたします。大変申し訳ありませんでした。

1



2020
修学旅行

修学旅行を振り返って

新型コロナウイルス感染症の影響で心配された2年生普通科・商業科の「沖縄修学旅行」。国内の感染者数の増減が繰り返される状況下ではありましたが、検温やマスクの着用など必要な対策を適宜行い、何とか実施することができました。当日は時々小雨の降る時もありましたが、全団ともおむね天候に恵まれ、沖縄を肌で感じるには十分な環境でした。日頃の学校生活を離れ、豊かな自然と文化を兼ね備えた沖縄での様々な体験は、生徒にとって大変貴重な学びになったと思います。

初日は、「子どもの沖縄戦、女子学徒の沖縄戦、北谷土地闘争、読谷住民の自治」の4つのコースに分かれ、「沖縄平和ネットワークの会」の方々にガイドをしていただき、平和学習を行いました。生徒は巡った先で平和ガイドの方に説明いただいた内容を、記録としてメモや写真に残し、事前学習で学んだ内容と実際に目の前にあることをリンクさせながら、主体的に学びを深めました。また、夜のHRではその日に学んだことを振り返り、同じコースの仲間と「他のコースに行っているクラスメイトに何を伝えるか」を整理し、事後学習に繋がられるようにもしました。

2日目のコース別体験では、シュノーケリングやマングローブ観察などの自然体験・パインジャムや沖縄工芸品作りの文化体験など、それぞれのコースで学び楽しむ生徒の姿を見ることができました。2日目の夕方からは伊江島に渡り民泊。「伊江島の子」として島内

巡りや食事の時間を一緒に過ごし、おじい・おばあの優しさに触れました。離村式後も乗船まで一緒に話をしている姿、出港後もデッキから声をかけて手を振り続けている姿を見て、改めて「家族の繋がりが大切さ」を感じられたのではないかと思います。

最終日は、グループ毎に決めたテーマに沿って「取材旅行」と題し、タクシー研修を行いました。タクシーの運転手さんや現地の人とのコミュニケーションを通して、沖縄の人の優しさに触れながら各々の時間を過ごし、修学旅行を締めくくりました。

行事の成功には準備が欠かせません。各教科での事前学習や、クラ連・平和学習・演芸委員の事前準備など、生徒も教員も十分な準備をして臨んだからこそ、充実した修学旅行にすることができました。修学旅行を実施するうえで、多くの方にご助力いただき、生徒の心に残るものを作ることができました。お世話になった皆様、本当にありがとうございました。

2年生学年主任 梶川 千友



平和学習について

2年生普通科・商業科は12月に沖縄修学旅行を実施しました。修学旅行の目的の1つに「感性を育むこと」があります。沖縄修学旅行で育まれる感性とはいったい何でしょう。沖縄には私たちが暮らしている場所とは違う気候や文化、複雑な歴史があります。日常生活では体験できない、他の価値には置きかえることのできない「体験としての学び」が沖縄では可能になるのです。また、本校の修学旅行で大切にしていることに「平和学習」があります。「戦争とは、平和とは」という問いを単純化することなく考え続けることを大切にしています。沖縄を訪れる前の事前学習と、行程の1日目に行われるフィールドワーク、名古屋に戻ってからの事後学習を通して平和について考えます。事前学習で学んだ場所をフィールドワークで訪れ、そこで感じたことを授業で共有します。沖縄戦から75年が経ちました。しかし現在も私たちの身の回りには抑圧的な構造が潜んでいます。SNSでの誹謗中傷、ヘイト、ハラスメント、DV、いじめなどは絡み合っている人の命さえも脅かしているのです。あらゆる人権が踏みにじられた戦争から学び、他者も自分も大切にできる感覚を磨き続けることが必要です。修学旅行は無事に終わりましたが、私たちの「感性を育むこと」、「平和学習」は日常の中で続きます。

平和学習担当 鶴岡 昌毅



平和宣言文

私たちは修学旅行の事前学習として社会科と国語科で沖縄について勉強しました。主に沖縄戦が起こった当時を知る方の体験談や、どんなことが起こったのかを知りました。その中で『月桃の花』という映画を見て沖縄戦のことをより現実的に深く学びました。戦時中はひめゆり学徒隊として戦争に参加した人もいました。一人で逃げ回っている子もいました。対馬丸に乗り、疎開して逃げようとした人もいました。そして、沖縄戦後に占領された土地として米軍基地がいまだに残っています。これらの事前学習を通じて感じたことは、戦争というのはとても残酷で悲惨だということです。そして二度とこんな悲惨なことが起きる世の中になって欲しくないということです。これから戦争をしない平和な世界を維持していくためには「アタリマエ」がある毎日に感謝することが大切だと思います。ご飯を毎日食べられること、帰る家があること。自分自身が生きていること、友達と楽しく話せること。そのような今ある「アタリマエ」を受け継ぎ、新たな「アタリマエ」を創り出せるような世の中にしていきます。

2020年度 平和委員会





修学旅行日程



貸切バス
航空機
タクシー研修
船

1日目

中部国際空港

那覇空港

コース別平和学習

ホテル

※夕食後、平和学習の振り返りHR

コース1

子供の沖縄戦コース

コース2

女子生徒の沖縄戦コース

コース3

北谷土地闘争コース

コース4

読谷住民の自治コース

2日目

ホテル

コース別体験学習

本部港

伊江港

伊江島民泊

コース1

パインジャム作り+美ら海水族館

コース2

シュノーケリング+美ら海水族館

コース3

むら咲むら体験+古宇利島

コース4

エコネット美ら

コース5

やんばる自然塾

3日目

伊江島内研修(民泊毎体験学習)

伊江港

本部港

ホテル

4日目

ホテル

那覇空港

中部国際空港



修学旅行感想文

203 大川 琉生 (清須市立新川中学校)

僕はこの4日間でとてもたくさんの事を経験しました。1日目の女子生徒の沖縄戦コーナーでは、ひめゆりで起こった悲劇や出来事などを学ぶことができました。特に印象に残ったのは、ひめゆりで亡くなった方たち一人一人の顔写真とその方の特徴などが書かれた部屋です。今までは戦死者などをただの数字でしか見たことがなかったので、一人一人の特徴が細かく書かれていたのを見て、改めて事の重大さに気づけたように思います。

207 木村 めい (名古屋市立御田中学校)

修学旅行での一番の思い出は伊江島での民泊です。私は人見知りで、おじいおばあが怖かったらどうしようと不安でした。しかし、到着してすぐにおばあが「もう4人も私の孫」と言ってくれて、急に名古屋の祖母が恋しくなって泣いてしまいました。別れの時には、「いってらっしゃい」と笑顔で送り出してくれて、それがまた寂しくて泣いてしまったけれど、また笑顔で伊江島に「ただいま」と帰れるように、精神的にも大人になって素敵な人になりたいと思います。戦争で多くのものを失い、苦しいことを経験したからこそ、おじいやおばあは今私たちに優しく接し、いろんなことを教えてくれるんだらうな、と感じました。

208 菊地 廉生 (名古屋市立一柳中学校出身)

伊江島では、おじいさんが車でいろんな場所を案内してくれました。とても面白い方だったので、話すのがとても面白かったです。貝殻集めやガマ体験、山登りなどをしました。最後は、みんなでカチャーシーを教えてもらって踊りました。上手にできたわけではないけれど、とても盛り上がりました。本島に戻るときには、伊江島の島民の方々が手を振って見送ってくれて、とても嬉しくて感動しました。

211 鈴木 健悟 (名古屋市立港北中学校出身)

コロナ禍の中、12月14日から17日にかけて、沖縄へ修学旅行に行った。その経験を通じて、沖縄は想像より明るく、素晴らしい場所だな、世界は本当に広いな、と感じることができた。修学旅行に行く前は、沖縄は暗い印象ばかりで、現地の人は戦争のことばかり話すのかなと思っていた。だが、いざ話してみると真先にその話題になることはなく、前向きに沖縄の伝統や素晴らしいところをたくさん、丁寧に話してくれた。あまり思っているわけではないかもしれないが、わかっていて敢えて話題に出さないのかなとも思った。しかし、それは「沖縄は戦争があったことが全てじゃない」「戦争は悲しいことばかり残っていったけど、そればかりじゃなくて、"今"の沖縄の楽しいことに目を向けて、心に残ってほしい」という、過去ばかりに目を向けず、今を精一杯生きるんだという前向きな気持ちのように思えた。民泊のおじい、おばあはもちろん、街を歩く人たちも明るかった。これらのことから、ここは本当に明るい場所なんだな、いいところだなと印象がひっくり返った。沖縄に行けて良かった。また行きたい。

11月7日14:00～16:00開催

「同朋オープン・フォーラム2020」報告

今年度のテーマ

学校の役割を考える 休校期間とその後をめぐって見えてきたもの
～同朋で育む力とは～

今回のフォーラムでは「休校期間とその後をめぐって見えてきたもの」と題し、今年行えたこと行えなかったこと、新たに取り組んだことなどを通して「同朋で育みたい力」とは何かなどを、分散会形式で話し合いをしました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として全体会が行わず、今夏中止になった地域懇談会の地区割りをベースとして分散会のグループ分けをし、来年度へのつなぎともしました。

参加者は、保護者65名、教員48名、生徒9名 合計121名でした。全体で18の分散会に分け、1グループ4～8人で話し合いをしました。当日はまず動画(①卒業生(愛教大3年 村尾さん)による体験談「『信頼する』ことを教えてもらった3年間」②生徒会「『考動』する同朋高校生徒会」)を視聴し、その後討論に入りました。

少人数での話し合いについては、「人数が少なくて話しやすかった。」「じっくり話げできた。」という方と「もっといろいろな方の話が聞きたかった。」という方、両方の意見がありました。

お忙しい中参加してくださった皆さん、ありがとうございました。

実行委員会事務局 柘植 さとみ



■今回のテーマである「同朋で育む力」について 以下のような意見が分散会で出ました。

- ・同朋は選択肢がたくさんあるのでたくさん失敗することができる。そこから学べることが大切。
- ・高校時代に、他者とのやりとりを通して人との関わり方を学ぶ力、行事などで失敗しながら見通しを持って行動する力を身につけて欲しい。
- ・自分の道を自分で選択する力をつけて欲しい。
- ・自分と他者を認める力を同朋では育むことができると思う。
- ・自由の中にある「自分で考える力」が大切だ。
- ・同朋は生徒が個性を発揮しやすい環境があり、その中で多様性を学んでいくことができる。
- ・子どもそれぞれは目標とするところは違うけれど、一歩ずつでも進んでいく力を育てることができる場所だと認識できた。

■その他、保護者の方からもたくさん感想をいただきました。 一部抜粋します。

- ・卒業生や生徒会の取り組みの動画がよかった。(特に、卒業生の話に感動したという感想多数)
- ・2、3年のお母さま方の話がとても参考になった。
- ・学校の考え方、保護者の考え方、生徒の考え方を話し合っ共通認識にできたのがよかった。顔を見て話し合うのは大事ですね。
- ・他を認める文化が同朋にはある。



1年生 キャリア教育 『職業と進路を考える集い』

10月20日、本校にて社会人をされている講師の方4名を招き、職業や進路についての講演会を行いました。職業や進路を考えていくための考え方や価値観、人生をよりよいものにしていくためにはどんなことが必要かなど、実際に働いている方からの言葉に生徒たちは刺激を受けていました。



「常に先のことを考え行動することが大切だと感じた」「一つのことをやり続けること、いろいろなことにチャレンジすることをこれからしていきたい」など、生徒たちからは将来に向けて前向きな感想をきくことができました。今後も自分の将来に向けて視野を広げ、考えていってほしいと思います。 1年生学年主任 本田 裕規

報恩講 “共なるいのち”を生きる

11月28日は、浄土真宗の宗祖親鸞聖人の祥月命日です。親鸞聖人の教えを建学の精神とする本校は、本年度は11月27日に1年生全生徒が、間隔を空けて同朋高校・体育館に集いました。

報恩講とは、親鸞聖人をはじめ、今を生きる私たちまでお念仏の教えを伝えてくださった先輩方に思いをいたし、その恩徳に感謝し報いる御仏事です。同時にそれは親鸞聖人の言葉に出会い、自らの生活を振り返るお勤めでもあります。

今年度の報恩講は、各学科の代表生徒による献花のほか、音楽科生徒のリードで「三帰依（パーリ文）」を唱和（録音したものを再生）し、真宗大谷派学校連合会運営委員の一柳智史先生に法話をいただきました。一柳先生ご自身の経験をお話いただ

き、「共なるいのち」について考えを深めることができました。

報恩講を通してお念仏の教えに出会い、自分を見つめ直し、「同朋」という他者と認め合い、共に生きていけるご縁となれば幸いです。 宗教主任 宮城 道良



音楽科

第52回 卒業演奏会

去る1月8日(金)、「音楽科第52回卒業演奏会」を行いました。今年は世情を鑑み例年の会場より舞台も客席も大きい、金山の日本特殊陶業市民会館フォレストホールにての開催となりました。また、本来10月に行うはずだった合唱とオーケストラの発表もプログラムに組み込まれ、オーディションにより選ばれた音楽科3年生のピアノ・電子オルガン・声楽・ミュージカル・フルート・クラリネット・トロンボーンの名専攻生徒のソロ演奏と共に、万全の感染対策の中、熱演を繰り広げました。ご来場のお客さまには事前に申し込みをしていただき、入り口での体温チェックや時間差での入場、一席ずつ空けた座席の番号をお帰りの際申告していただくなどご協力いただき、滞りなく終演することができました。新型コロナウイルス感染拡大が深刻な状況の中、関係各所の皆様のお力添えで演奏会が無事に行えたことをこの場をお借りして心より感謝申し上げます。

音楽科主任 楠木 勇樹



商業科

パーソナルカラー講座

色を通して自分らしさを発見

3年生を対象に パーソナルカラー講座を実施しました。

本校の商業科では、「パーソナルカラー講座」「マナー・身だしなみ講習会」「ライフプランニング学習会」などさまざまな講座を実施し、社会人から学ぶ機会を多く取り入れています。今年は、新型コロナウイルスの影響があり、昨年度実施していた講座の中止が相次ぎました。その中で、ウイルス感染対策を行いながら3年生を対象とした「パーソナルカラー講座」を実施することができました。

「パーソナルカラー講座」では、視覚の重要性や色がもたらす効能などを学びました。人間の5感のうち視覚による情報が83%であり、色によって相手に与える印象がどれだけ重要であるか学ぶことができました。講師の先生のお話で一番印象に残っているのが、自分の好きな色（ハッピーカラー）と自分が似合う色（オーラカラー）の違いについてです。自分がこうありたいという心の中がハッピーカラーとして現れて、他人から見た自分がオーラカラーとして現れます。ハッピーカラーとオーラカラーのギャップに気づき、「周りから私はこう見られているのか!」という発見がそこにありました。



公益財団法人全国商業高等学校ポスター作品募集に、本校商業科デジタルデザイン系列の生徒が応募しました。同協会調査・広報部で全国の学校から集まった作品が慎重に審査され、本校商業科、高須愛三さんの作品が優秀賞に選ばれ、次年度の同協会検定試験のポスターデザインの採用されることになりました。

また、鈴木日菜さんの作品は、優秀賞に次ぐ優良賞を受賞しました。

高須さん（名古屋市長あずま中学校出身）左、鈴木さん（清須市立新川中学校出身）右



Club&Award News

生徒の活躍（～1月13日まで）

◆商業科

税に関する高校生の作文

名古屋中村税務署長賞 小島 早代伽 （211）

公益財団法人 全国商業高等学校協会 ポスター作品

優秀賞 高須 愛三 （210）

優良賞 鈴木 日菜 （310）

◆音楽科

第35回童謡こどもの歌コンクール

グランプリ大会出場 入江 十和歌、志賀 和愛、山西 菜音（311）

第30回クラシック音楽コンクール クラリネット部門

全国大会出場 大崎 莉子（311）

■柔道部

第43回尾張・名古屋・知多新人柔道体重別柔道大会

男子90kg級 第2位 山田 健太 （202）

男子60kg級 第3位 大島 拓人 （204）

男子66kg級 第3位 横尾 龍也 （206）

男子73kg級 第3位 中村 風凱 （201）

男子81kg級 第3位 山本 夢大 （206）

男子100kg級 第3位 小池 倅ノ介 （112）

女子48kg級 第2位 山本 香来 （204）

女子52kg級 第2位 菊池 律杏 （109）

第3位 島田 悠麻 （211）

女子57kg級 第2位 大崎 玲来菜 （203）

第3位 小島 早代伽 （211）

女子63kg級 第2位 井上 心月 （202）

令和2年度 愛知県高等学校 新人体育大会 柔道 名南支部予選会

女子団体 第1位

男子団体 第2位

令和2年度愛知県高等学校新人体育大会 柔道

女子48kg 優勝 山本 香来 （204）

女子52kg 2位 菊池 律香 （109）

女子57kg 第3位 小島 早代伽 （211）

女子63kg 第3位 井上 心月 （202）

男子団体 第3位

■男子ソフトボール部

令和2年度愛知県高等学校新人体育大会 男子ソフトボール競技

第3位 → 県大会出場

■女子バスケットボール部

U18 ALL AICHI CHAMPIONSHIP 2020 名南支部大会

→ 2次トーナメント（県大会）出場

■ラグビー部

第100回全国高等学校ラグビーフットボール大会

愛知県大会 第3位

令和2年度愛知県高等学校新人体育大会ラグビーフットボール競技

名南知多支部予選会 優勝 → 県大会へ

■女子蹴球部

第29回全日本高等学校女子サッカー選手権大会

愛知県大会 第3位

■乗馬部

令和2年度 愛知県高等学校新人体育大会 馬術競技

障害飛越 第3位 渡辺 大輝（202）

令和2年度 愛知県高等学校馬術王座決定戦

団体総合 第2位 【兼東海大会】

障害飛越競技 優勝 西 悠太（207）【兼東海大会】

馬術競技障害飛越 第3位 渡辺 大輝（202）

馬場馬術競技 第3位 廣田 有咲（208）